

# 新指定関市重要文化財

照会先 文化財保護センター ☎23313

市教育委員会では、文化の保護、伝承、活用に向けて、積極的に文化財の調査、研究を進めています。市文化財保護条例に基づき、新たに次の2点を関市重要文化財に指定しました。

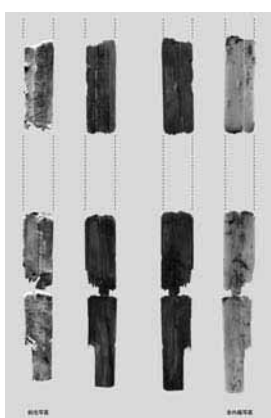
★重要無形文化財（民俗技術）  
鵜飼用具作製に関わる竹細工技術  
【保持者】石原文雄さん（相生町）



石原さんは鵜飼で使われる鵜籠（ヨツザシ、フタツザシ）、吐け籠、鳥屋籠を作製しています。今は全国で唯一の鵜籠を作る職人であり、小瀬・長良の鵜飼だけではなく、犬山、遠くは山口県岩国市からも注文を受け、鵜籠を作製しています。市では「長良川の鵜飼漁」のユネスコ世界無形遺産登録を目指しています。「鵜飼用具作製に関わる竹細工技術」は「鵜飼文化」を守り、伝えていく貴重な文化財です。

★重要有形文化財  
弥勒寺遺跡群出土木簡

旧美濃国内で初めて出土した古代の木簡。幅35ミリ、厚さ4ミリのヒノキ材で、本来の長さは2尺（60センチ）と推定されます。武義郡衙（古代の郡役所）から出された命令書で、表面に召還を命じる人の名前を2行にわたって列記し、裏面には命令にそむいた場合の刑罰を記しています。古代人の営みを直接知ることができる貴重な資料です。このほかにも国指定史跡弥勒寺官衙遺跡群からは重要な出土品が多くあり、引き続き整理、研究を進めます。



※わかくさ・プラザ「学習情報館1階・特別陳列室」では石原文雄さんの技術や鵜籠などを紹介した特別展示「職人の技〜鵜籠を支える職人たち〜」を6月20日（日）まで開催しています。ぜひご覧ください。

## 作品募集

## 「宇宙の日」記念 全国小・中学生絵画コンテスト

毛利衛宇宙飛行士がスペースシャトル“エンデバー号”で初めて宇宙へ飛び立った9月12日が「宇宙の日」です。この日には宇宙を身近に感じることができるイベントが全国各地で開催されます。この絵画コンテストもその一環として行われるものです。宇宙だからできる楽しいこと、宇宙を利用したら便利なことなど、新しい宇宙の使い方や夢を絵で表現してください。

- ★テーマ 「宇宙を利用した未来の〇〇」  
※〇〇に好きな言葉を入れてテーマを考える
- ★応募資格 小・中学生
- ★応募方法 A2サイズ(420×594mm)以下の用紙を使用。作品は、まなびセンター（わかくさ・プラザ「学習情報館3階」）へ持参。作品は返却しません。
- ★応募締切 7月31日（土）（必着）
- ★各賞 文部科学大臣賞や国立天文台長賞、科学館賞など  
※応募者全員に参加賞
- ★主催 文部科学省、宇宙航空研究開発機構、日本宇宙フォーラムなど
- ★照会先 まなびセンター（☎23-7760）

